

富山県感染症発生動向速報

(2025年第32週分・8月4日～8月10日)

■今週の主な動向

○新型コロナウイルス感染症の報告数が増えています。

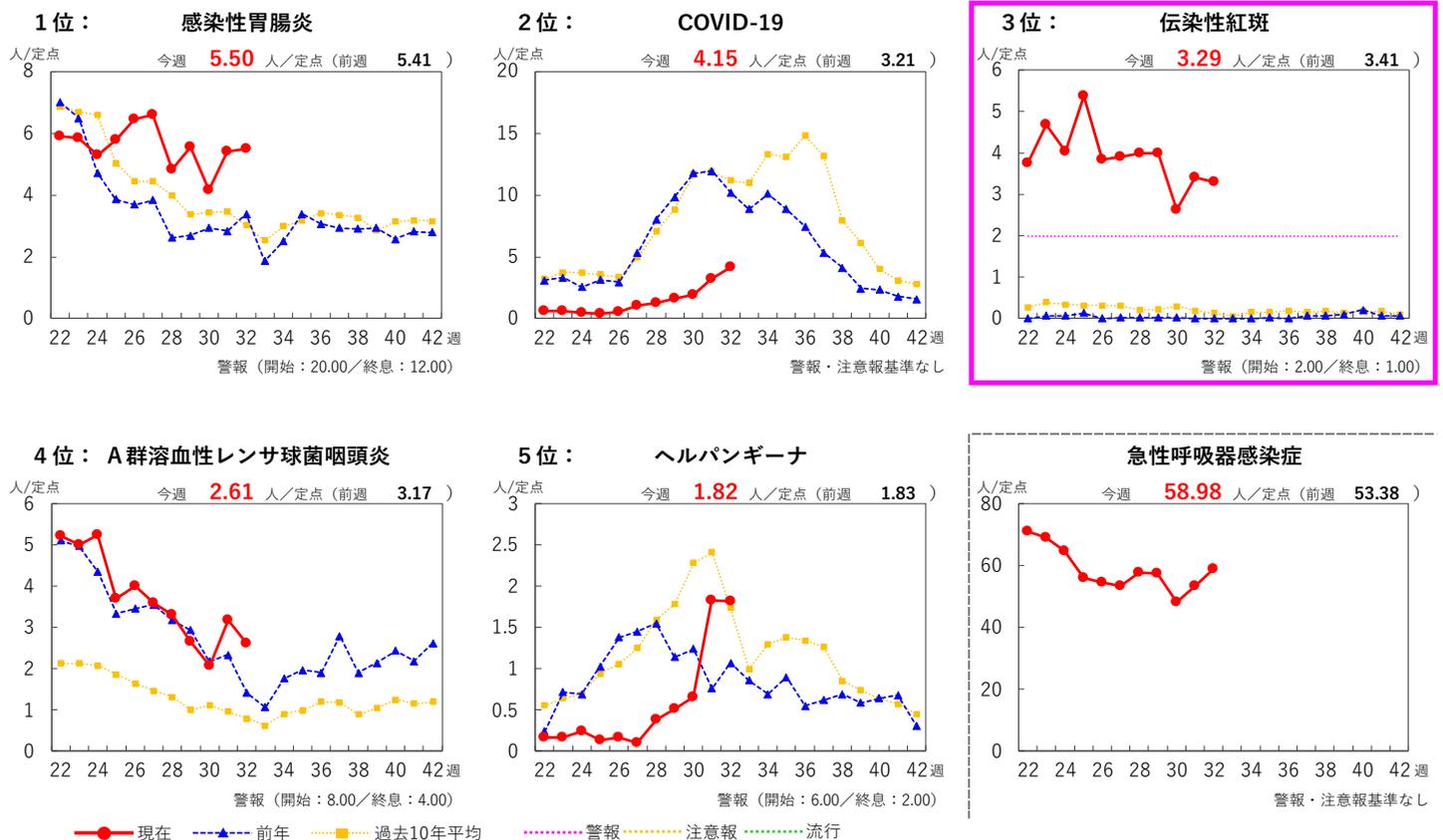
県内の患者報告数は、前年に比べ少ないものの増加傾向が続いています。全国的にも増加傾向であり、例年夏季に報告数が増加していることから注意が必要です。手指衛生や咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう（[第31週インフォメーション参照](#)）。

○感染性胃腸炎の報告数が多い状況です。

小児科定点での報告数は、例年に比べ多い状況が続いています。感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、細菌やウイルスなどの病原体が主に食品や手指を介して口から入ることによって感染します。感染予防のために、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患 + 急性呼吸器感染症（第32週・8/4～8/10）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 1件（40歳代、男性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件（20歳代、女性、O103、VT1）
- 五類感染症 百日咳 12件（①②共に10歳未満、男性 ③～⑤全て10歳未満、女性
 ⑥10歳代、男性 ⑦～⑩全て10歳代、女性
 ⑪40歳代、男性 ⑫60歳代、女性）





気温が高くなっています 細菌性食中毒にご注意を！

《インフォメーション》

●食中毒に注意しよう

細菌による食中毒（細菌性食中毒）では、肉や魚介類などの食品に含まれる細菌が人体に感染し、発熱、嘔吐、下痢、腹痛、血便などの症状を引き起こします。細菌性食中毒は、毎年気温や湿度が高くなる夏季に増加する傾向があります。富山県生活衛生課は、細菌性食中毒が発生しやすい気象条件になっているとして、8月6日に食中毒注意報を発令しました（[食中毒注意報を発令しました（令和7年第2回）](#)）。

昨年の厚生労働省の食中毒統計調査によると（表参照）、全国ではカンピロバクターを原因菌とする食中毒件数が208件（65.6%）と最も多く、全体の半数以上を占めていました。カンピロバクターは、生または加熱不十分な鶏肉やレバー等の内臓肉を食べることや、菌に汚染された飲料水等を飲むことで感染します。2023年8月には石川県で湧水を原因とするカンピロバクターの集団食中毒が発生しました。

一方、1事例当たりの患者数ではウエルシュ菌が最も多く報告されています。これは、ウエルシュ菌食中毒の多くが給食施設や仕出屋など、大量調理を行う施設等で発生しているためです。富山県においても、2023年1月にカレーを原因食品としたウエルシュ菌の集団食中毒が発生しました。ウエルシュ菌は熱に強く、12～50℃に長時間保たれることで、食品中において大量に増殖すると考えられています。そのため、加熱調理済みの食品であっても調理後速やかに食べる、保存する場合は室温に長く置かず短時間で冷却することが推奨されます。

細菌性食中毒予防の3原則は、「細菌を食べ物につけない」「食べ物に付着した細菌を増やさない」「食べ物や調理器具に付着した細菌をやっつける」です。下記のことにご注意して食中毒の予防に努めましょう。

- ① 調理の際、食事の前、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 食品（特に肉類）は、内部まで十分に加熱（中心部の温度が75℃で1分以上）してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
調理器具の洗浄・消毒を徹底する
- ④ 食材は調理までの間、冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）で保存する
- ⑤ 調理した食品は、室温に放置せず、できるだけ早く食べる
すぐに食べない場合は速やかにあら熱をとり、冷蔵庫で保存する
- ⑥ 野菜、果物や魚介類は流水で十分に洗う

細菌性食中毒発生状況（2024年全国）

原因菌	件数	患者数	1事例当たりの
	n (%)	n (%)	患者数
カンピロバクター	208 (65)	1,199 (27.4)	5.8
ウエルシュ菌	43 (13.4)	1,889 (43.2)	43.9
サルモネラ属菌	21 (6.6)	384 (8.8)	18.3
ぶどう球菌	21 (6.6)	610 (14)	29.0
腸管出血性大腸菌(VT産生)	16 (5)	124 (2.8)	7.8
その他の病原大腸菌	5 (1.6)	105 (2.4)	21.0
セレウス菌	2 (0.6)	40 (0.9)	20.0
ボツリヌス菌	1 (0.3)	4 (0.1)	4.0
腸炎ビブリオ	1 (0.3)	1 (0.02)	1.0
赤痢菌	1 (0.3)	12 (0.3)	12.0
その他の細菌	1 (0.3)	1 (0.02)	1.0
総数	320	4,369	13.7

出典 厚生労働省「食中毒統計調査」



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第32週 2025年8月4日～2025年8月10日）

分類	疾患	今週報告分（第32週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	6	2	11	13	34	66
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	5	1	8	7	20	41
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1		1		1	3	1	1	6
四類感染症	E型肝炎									3			3
	A型肝炎								1	1			2
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）									1			1
	デング熱									1			1
	レジオネラ症								1	2	1	9	13
五類感染症	アメーバ赤痢									1		2	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9
	急性脳炎									1	1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		5	8
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
	ジアルジア症										1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	3	15	31
	水痘（入院例）							1		1			2
	梅毒							2	1	3	1	21	28
	百日咳		5	2	1	4	12	28	129	122	28	248	555
	風しん										1		1
	急性呼吸器感染症（ARI）定点 （46定点）	急性呼吸器感染症（※1）	285	228	920	225	1,055	2,713	5,370	4,748	18,596	4,172	22,653
		40.71	45.60	70.77	32.14	75.36	58.98						
インフルエンザ		3			1	3	7	936	858	1,650	978	1,881	6,303
		0.43			0.14	0.21	0.15						
小児科定点 （28定点）	COVID-19	47	17	54	38	35	191	1,001	397	1,074	756	966	4,194
		6.71	3.40	4.15	5.43	2.50	4.15						
	RSウイルス感染症	2	3	3		12	20	35	28	118	42	212	435
		0.50	1.00	0.38		1.33	0.71						
	咽頭結膜熱	1		5		5	11	63	32	265	4	96	460
			0.33	0.63		0.56	0.39						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	3	27	5	35	73	128	224	1,360	175	1,899	3,786
		0.75	1.00	3.38	1.25	3.89	2.61						
	感染性胃腸炎	29	6	8	9	102	154	886	570	1,402	476	3,894	7,228
		7.25	2.00	1.00	2.25	11.33	5.50						
	水痘		5	2		5	12	9	74	37	17	270	407
			1.67	0.25		0.56	0.43						
	手足口病	1	1			5	7	3	8	35	8	41	95
		0.25	0.33			0.56	0.25						
	伝染性紅斑	3	10	27		52	92	87	276	666	106	1,034	2,169
	0.75	3.33	3.38		5.78	3.29							
突発性発しん		1	5		11	17	5	17	98	23	98	241	
		0.33	0.63		1.22	0.61							
ヘルパンギーナ		3	38	5	5	51	20	23	59	10	86	198	
		1.00	4.75	1.25	0.56	1.82							
流行性耳下腺炎					1	1	2	9	6	8	17	42	
					0.11	0.04							
眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99
		1	4		1		6	4	11	24	2	2	43
	1.00	4.00		1.00		0.86							
基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
	無菌性髄膜炎										1		1
	マイコプラズマ肺炎	1		3			4	19	8	26	21	6	80
		1.00		3.00			0.80						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5	
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242
	COVID-19による入院患者	4	4	3	3	7	21	90	80	62	124	216	572

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（2025年7月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		7月報告分						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症		1	3		4	8	1	1	14		43	59	
			1.00	1.00		1.00	0.80							
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1		5	7		7	2		38	47	
			1.00	0.33		1.25	0.70							
尖圭コンジローマ			1	1		2	4		1	2	3	12	18	
			1.00	0.33		0.50	0.40							
淋菌感染症				2		1	3			3		9	12	
				0.67		0.25	0.30							
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		3	1		1	4	9	11	7	20	11	33	82
			3.00	1.00		1.00	4.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。